

(令和2年11月28日)

11月27日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、市内で新たに129例目（県内146例目）となる感染者が確認されました。

この方は、松江市在住の30歳代の男性でございます。

11月23日に悪寒、翌24日に発熱の症状があり、市内の医療機関を受診しました。その後自宅で静養されたものの、38度台の発熱症状が継続したため、27日に再度同じ医療機関を受診され、同日、松江地域検査センターで検査した結果、陽性であることが判明いたしました。

患者は、昨日、保健所の指導の下に自宅で待機し、本日、感染症対策を講じた医療機関に入院されました。現在は平熱で、症状はのどの痛み程度であり軽症でございます。

昨日から着手しております患者の行動歴調査により、発症2日前からの感染可能期間における勤務実績がないこと、また、発症2週間前以降、県外への移動歴はないことを確認しております。

なお、調査結果を踏まえて必要に応じて幅広い検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

感染拡大地域においては、GO TO トラベルやGO TO イートのさらなる運用見直しや飲食店の営業時間の制限など、感染拡大の抑え込みに重点を置く動きが広がりつつあります。

松江市においても、ここ数日感染者の発生が続いてはおりますが、市民の皆様には、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のほか、「三密の回避」と、寒い時期になりますが「室内の換気」を徹底し、感染リスクが高まる飲食の場面でも感染予防に十分留意いただくなど、引き続きのご協力をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。感染への不安から、偏見や差別、誹謗中傷などにより、患者やその関係者を傷つけたりすることなく、励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。